

# 100th

Memorial magazine  
1921~2021



宮城県古川農業試験場

令和4年3月

表紙の写真は、“歴史と未来への小径” 昭和 8 年に初めて新品種を育成し、開場後 100 年の間に 48 品種を育成してきました。モニュメントには、育成した水稻の品種名を印字し埋め込んでおり、“品種改良は永遠に続く”という思が込められています。

## 発刊にあたって



宮城県古川農業試験場は、大正10年（1921年）に宮城県農事試験場の分場として志田郡古川町に開設されて以来、今年度100周年目を迎えました。

この間、「ササニシキ」や「ひとめぼれ」、近年では「だて正夢」「金のいぶき」など48品種を育成したほか、水稻、麦類、大豆の生産性向上や低コスト化・省力化を図る研究、東日本大震災からの復興を支援する技術開発など、本県農業の発展に向けた試験研究に取り組んできました。

改めて、これまで積み重ねてきた成果の大きさと役割の重要性、そして歴史の重さを感じるどころです。

これまでも、「60周年記念誌（S45）」「70周年記念誌（S55）」「諏訪の思い出（H11）」などを発刊してきました。今年度、この100周年という大きな節目に当たり「100周年記念誌」を発刊することとしましたが、諸般の都合により印刷製本はせず、非予算での取組として電子データによりとりまとめ、ホームページで公開することとしました。

内容としては、「諏訪の思い出」を発刊した平成11年度以降の試験研究成果と震災対応を中心に取りまとめています。また、この間に在籍していただいた旧職員の方々に在籍当時の思い出等を綴っていただき、この間の歴史を埋めるとともに、次世代への何らかのメッセージを伝える記念誌になればと考えています。

折しも、昨年から新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい未だ収束を見ていない本年、多くの方々に集まっていただき御礼を申し上げる機会も失い、電子データによる発刊となりましたことをお詫び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、社会の仕組みや消費動向にも大きな変化が見えており、ウィズコロナ、アフターコロナの世界にどう対応していくか、課題は多いものと思います。しかし、人間にとって最も重要な食料生産とそれを支える技術開発の役割は引き続き非常に大きなものがあると考えています。

これまで古川農業試験場を支えていただいた全ての関係者、職員の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、今後なお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、発刊の言葉といたします。

令和4年3月

宮城県古川農業試験場 場長 渡邊 雅弘

# 100周年記念誌 contents

## 発刊にあたって

### グラビア

・農事試験場分場	1
・古川農業試験場（諏訪時代）	3
・古川農業試験場（現在）	4
・参観デー	5
・稲作講座	8
・試験研究あれこれ	9
・リモートセンシングの今昔	11
・農機あれこれ	12
・行啓等	13
・亀井善之農林水産大臣来場	14
・国際農業ジャーナリスト連盟世界大会	15
・表彰等	17
・人材育成	19
・場内案内図	20

## 第1章 沿革

1 設立と経過	21
2 予算及び施設備品等の整備状況	22
3 平成11年度以降の場長	23
4 土地・建物面積及び主要施設設備配置図	24
5 組織構成の変遷	25
6 在職職員一覧	27
7 育成品種と年表	39
8 水陸稲優良（奨励）品種の変遷	41
大豆優良（奨励）品種の変遷	47
小麦優良（奨励）品種の変遷	49
大麦優良（奨励）品種の変遷	51

## 第2章 試験研究成果

1 水稻育種	55
2 農業土木関係	57
モミタスの開発について（研究成果紹介）	58
3 栽培関係（稲作）	59
水田のスルホニウレア抵抗性雑草を簡易に検定するキット（研究成果紹介）	65

	籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定カードの作成（研究成果紹介）	67
	栽培関係（畑作）	69
	大豆栽培除草剤使用体系（研究成果紹介）	72
	除草剤の塗布装置の発明（研究成果紹介）	73
4	土壌肥料関係	75
5	病害虫関係	78
	育苗期病害耐病性植物種子の製造方法及び 育苗期病害の発病予防及び防除方法（研究成果紹介）	84
6	東日本大震災からの復興関連	85
第3章 「思い出」の記		
	諏訪から東大崎へ	小野寺和英 87
	IPMからIBMへ	小山 淳 87
	土壌のこと、動物たちとの奇遇のこと	齋藤 公夫 88
	富国88番地へ移転のころ	武田 良和 89
	定年退職と東日本大震災が	千葉 勝博 90
	古川農業試験場で過ごした美しい時間	千葉 克己 90
	自由な百姓と古試	鴫田 宏 91
	「東北194号」に託した思い	永野 邦明 92
	温故知新，継続試験のなかでの新たな課題との出会い	長谷川榮一 93
	古川農業試験場と歩む県職員人生	涌井 茂 93
第4章 視察研修対応状況		
	令和3年度視察者 東大崎小学校からの御礼文	97
	編集後記	101



農事試験場分場（大正 11 年）



農事試験場分場庁舎



種芸研究室



鉄骨網室

種芸研究室作業



田植作業

普通作物・蔬菜耕種梗概

A large, detailed table or document with multiple columns and rows of text. It appears to be a comprehensive guide or report on general crops and vegetable cultivation, with a title '普通作物・蔬菜耕種梗概' (General Crops and Vegetable Cultivation Overview) visible at the top right.



## 古川農業試験場（諏訪時代）



庁舎と研究施設



庁舎玄関（小学生視察見学）



耐冷性検定ほ場（諏訪）



古川農業試験場（現在）



庁舎



研究施設



岩沼駐在庁舎



耐冷性検定ほ場（東大崎）

## 参観デー

平成4年



稲作講座



オープニング



食味コーナー



平成 15 年

ササニシキとひとめぼれの  
食べくらべ



田んぼの生き物  
何がいる？



農道のリムジン？



令和元年



オープニング



未来の農業女子？



ごはんの食べくらべ



わら細工体験コーナー

## 稲作講座

冷害を克服する稲作講座（昭和 58 年）



稲作講座（平成 13 年）





## 試験研究あれこれ



麦類奨励品種決定調査



グラウンドカバープランツ適応性試



農産物の放射性物質測定  
(震災復興対策)





紙マルチ栽培  
(水田除草対策)

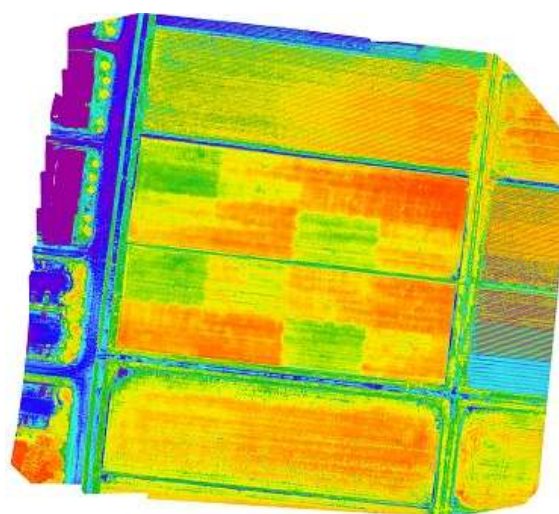


乗用田植機の多目的利用  
除草剤散布

津波被災ほ場の土壌調査  
(震災復興対策)



## リモートセンシングの今昔



ドローンを利用したリモートセンシング



管理機を利用したリモートセンシング

単管パイプで矢倉を組んで・・・



農機あれこれ



2条歩行田植機 最新機種？



バインダーの原型？



トラクター装着8条田植機プロトタイプ？



自動脱穀機



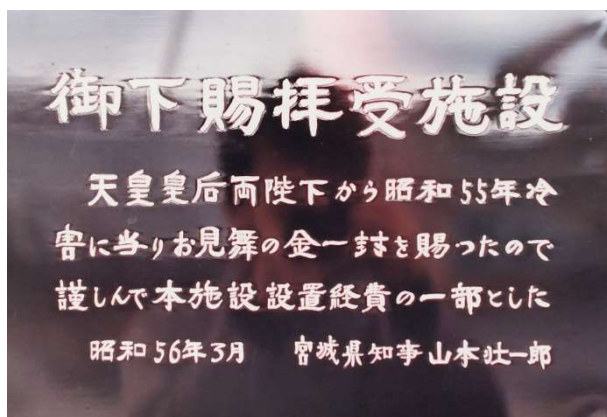
無代掻き湛水直播機



## 行啓等



昭和 52 年 7 月 21 日 行啓



平成 2 年 8 月 1 日 行啓

亀井善之農林水産大臣来場

平成 15 年 10 月 22 日





## 国際農業ジャーナリスト連盟世界大会（平成 19 年 9 月 19 日）

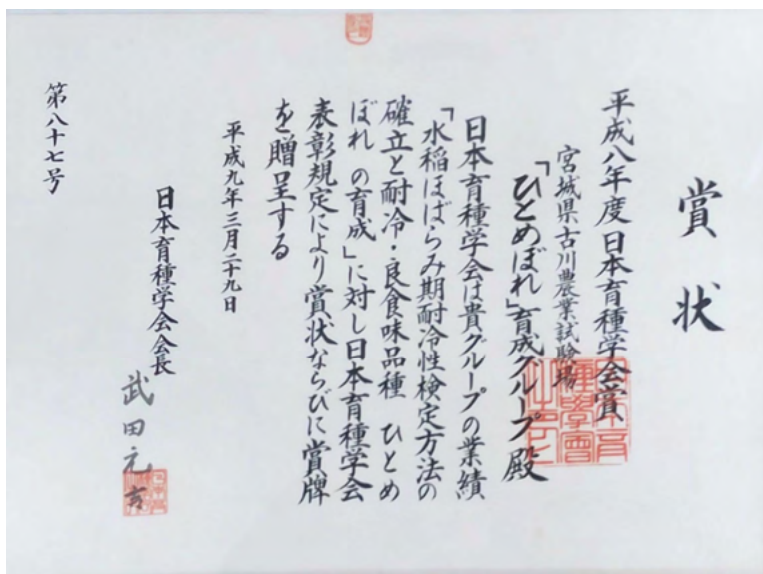
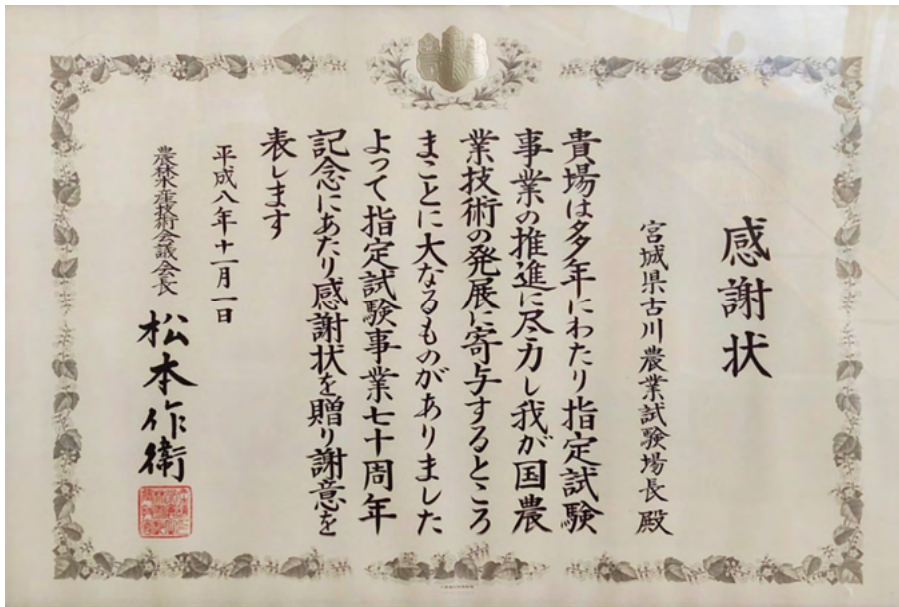
世界 29 国の農業ジャーナリストが加盟する国際農業ジャーナリスト連盟の第 51 回世界大会が日本で開催され、会場が東北の取材地となりました。



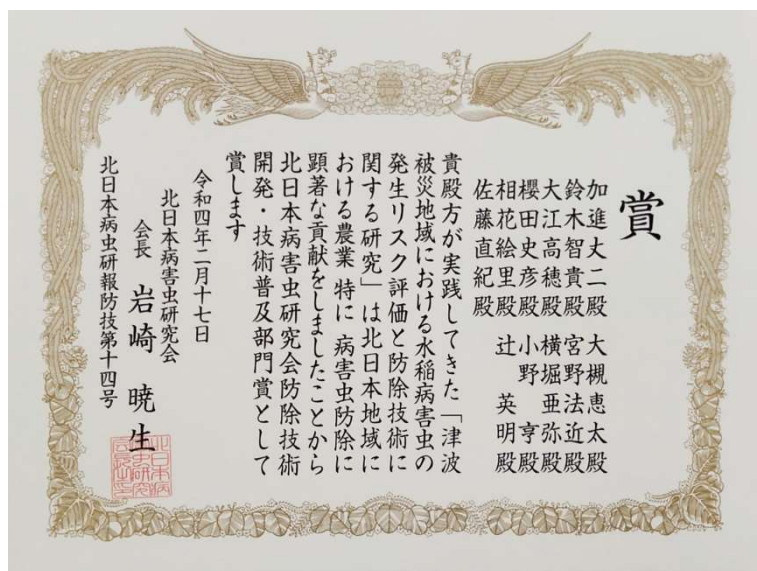
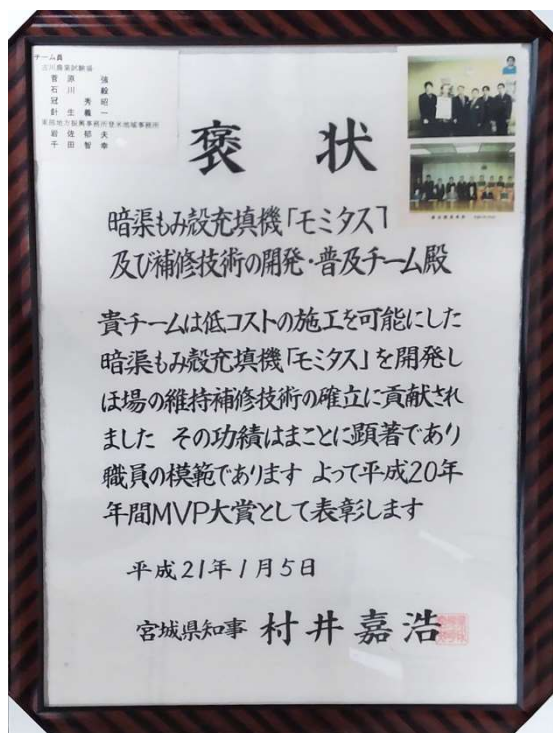
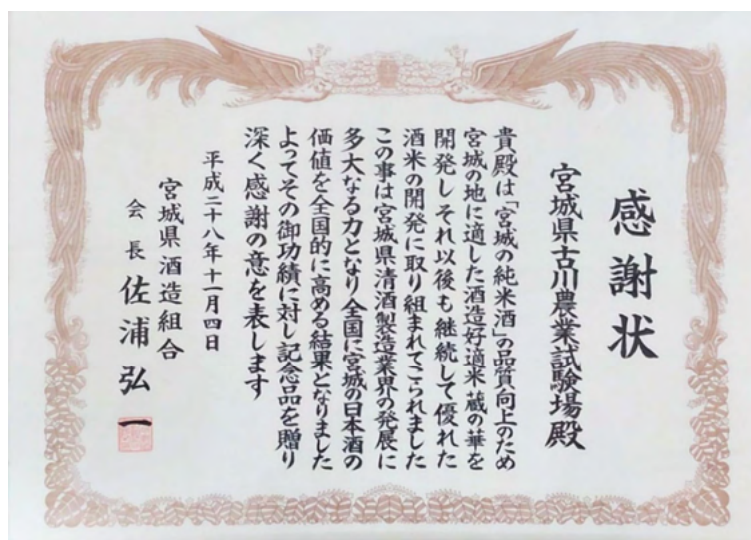
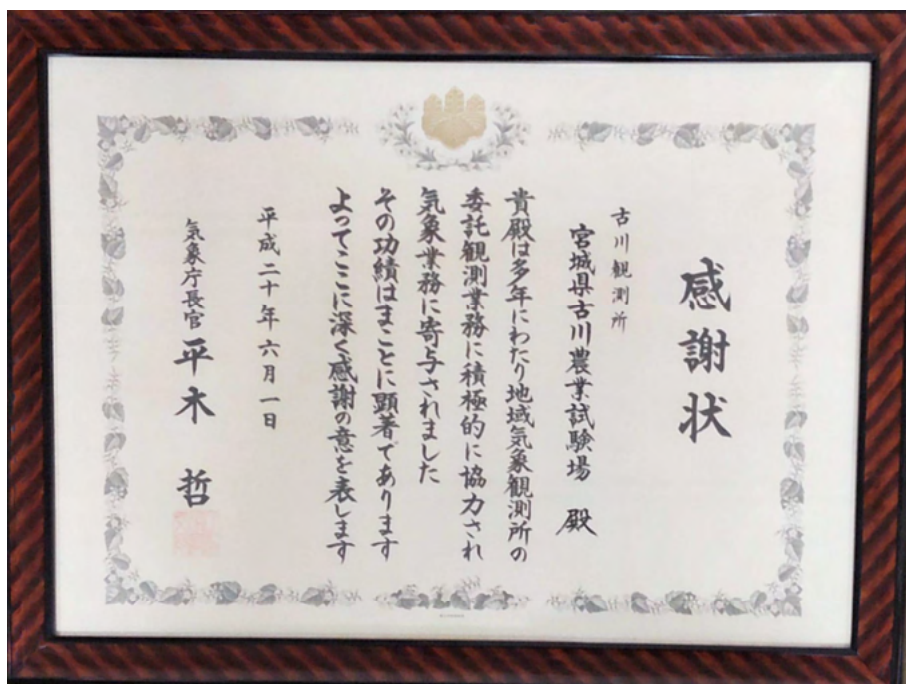




表彰等

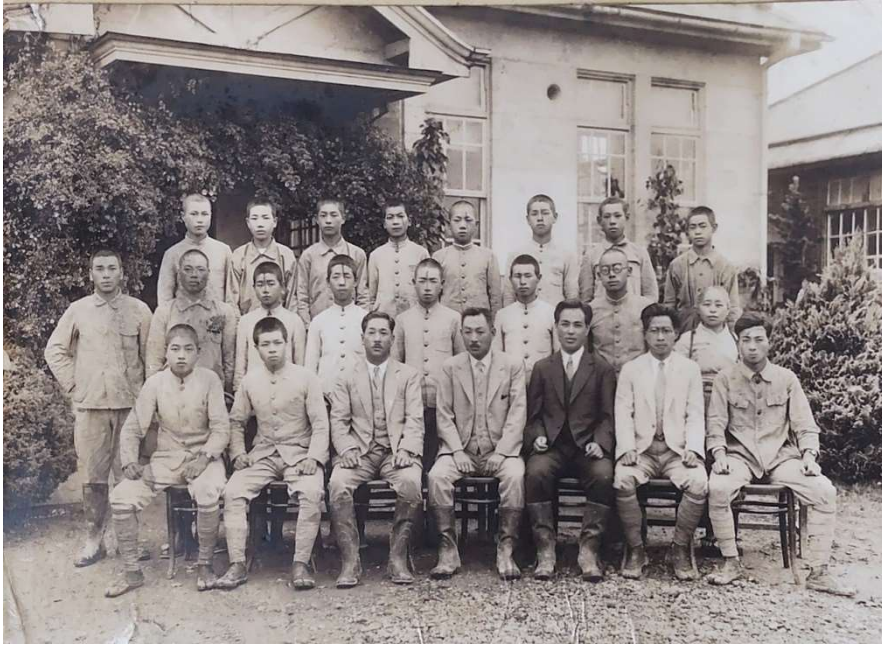








## 人材育成



研修生卒業記念（分場時代）



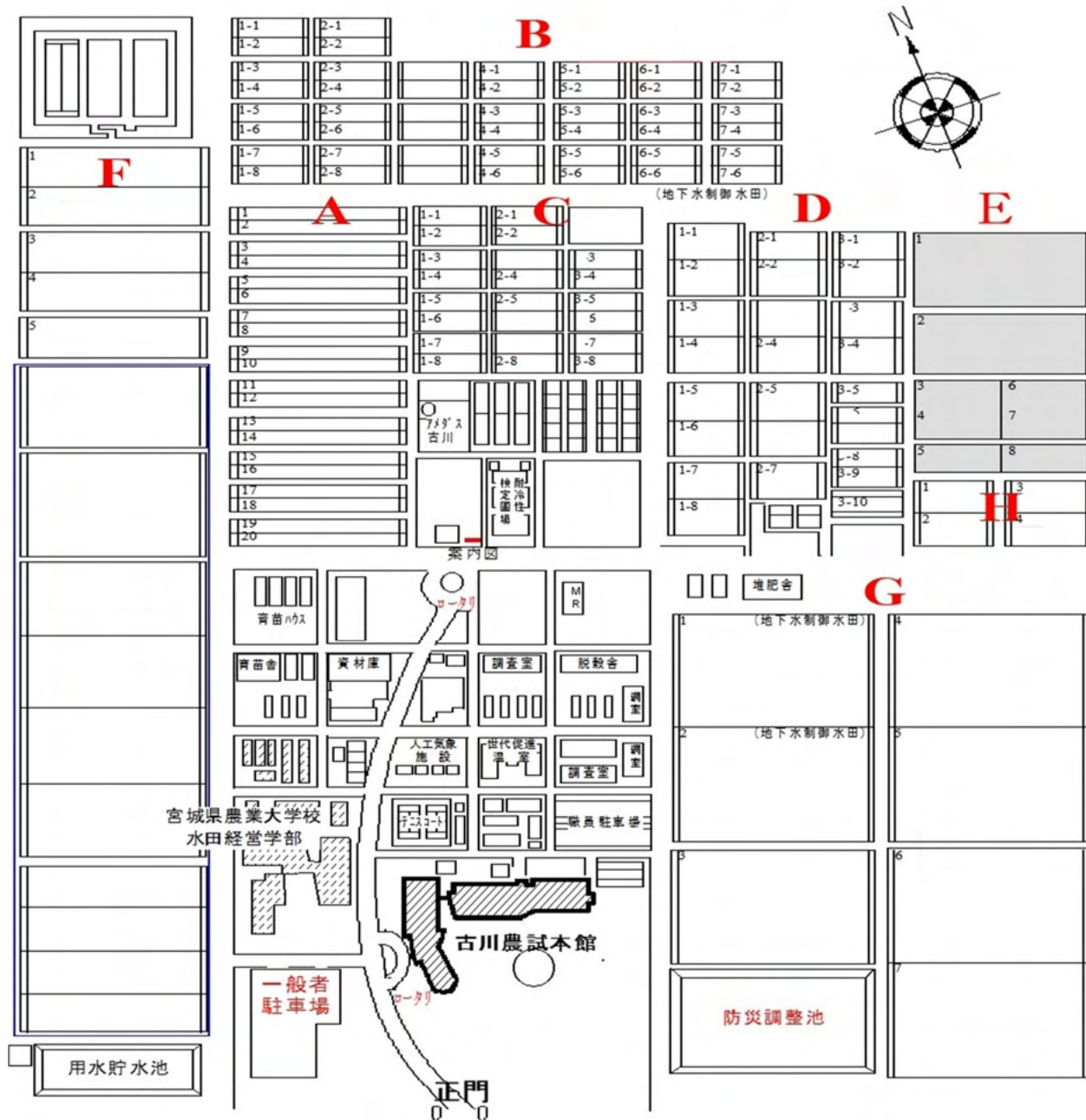
昭和 59 年 中国研修生成果発表会



令和 3 年 農業大学校水田経営学部 講義



# 場内案内図



# 第1章 沿革

## 1 設立と経過

大正10年4月に宮城県立農事試験場が名取郡茂ヶ崎村（現在の仙台市長町）から名取郡岩沼町（現在の岩沼市）に移転したが、これと同時に志田郡古川町（現在の大崎市）に分場が新設された。これが古川農業試験場の始まりである。設立の趣旨は、本県の耕地が南北に長く、気候の関係が仙台市を境にして相違することから、本県の主な稲作地帯である県北部にも設立すべきであるということであった。発足当時の重点課題は、稲の品種改良及び栽培技術の改善と施肥標準調査となっており、その後、麦類に関する試験を開始し、蔬菜園芸に関する試験、大豆に関する試験を実施した。また、水稲や小麦の原種圃が設置された。

昭和22年からは、分場内に農林省直轄の古川農事改良実験所が設けられ、農林省指定水稲新品種育成試験を行った。しかし、昭和26年3月から同実験所の業務が農林省指定試験として再び県に移管され、平成22年まで継続した。

昭和28年に本場が、岩沼市から仙台市原町小田原に移転した時に、宮城県立農業試験場古川分場と改称された。昭和48年に本場が仙台市から名取市高館に移転し、宮城県農業センターと改称された際に、宮城県古川農業試験場として独立した。独立時の組織は、総務課と試験研究部の1部制で水稲育種科と作物科が設置されたが、昭和52年には、試験研究を強化するため2部制となり、育種部には育種科を、栽培部には作物科と新たに環境科が置かれた。育種部は、農林水産省の水稲育種指定試験として全国的な育種組織に組み込まれ、農林水産省の育種計画を基本とし、耐冷、耐病、良食味品種の開発に取り組んだ。栽培部では、主に県北部の水田地帯を対象とした水稲栽培技術、水田転作や還元肥培管理技術、環境保全型栽培技術などの試験を実施した。しかしながら、この頃から試験場周辺の宅地化が進み、研究環境が悪化しており、昭和50年代の中頃からは、新たな試験場候補地の検討が開始され、平成5年に大崎地区への移転が決定した。平成7年に、東大崎地区の圃場整備地区内の用地50haを買収して、平成9年から本館研究棟などの建設を開始し、平成11年3月に本館は落成した。古川農業試験場の建設計画と同時に、農業実践大学校農産学部の移転が決まり、当初予定の農業試験場用地の中から6haを大学校の敷地及び実習圃場とした。

平成11年3月、古川農業試験場は、古川市大崎字富国88番地（大崎市古川大崎字富国88番地）に移転した。平成13年4月には、試験研究機関の再編に伴い、農業センターの農産部、土壤肥料部、作物保護部から、土地利用型農業関係の部門が古川農業試験場に移転統合され、さらに、土壤肥料部門に農地基盤整備部門が新たに加えられた。新体制は、作物育種部、水田利用部、土壤肥料部、作物保護部の4部制となり、研究職員は、場長、副場長を含めて42名、事務職員は4名、試験検査補助職員3名、農場業務職員12名、運転業務職員1名の計62名となった。作物育種部では、引き続き指定試験事業で水稲の耐冷性、いもち病抵抗性、極良食味品種の育成とDNAマーカーによる耐冷性及びいもち病真性抵抗性同質遺伝子系統の育成方法の開発等を実施した。水田営農部では、水田植物生態、水稲品種作柄、水稲栽培生理、畑作物栽培、水田輪作等の分野で、土地利用型作物の栽培、水田の高度利用に係る試験を実施した。土壤肥料部では、作物栄養、土壤保全、水質・土壤汚染、情報処理、農業基盤等の分野で、栄養生理、公害防止、圃場整備に伴う基盤整備法や大区画圃場における暗きょ排水施工法等の試験を実施した。作物保護部では、病害制御、害虫制御の分野で、総合的病害虫管理の立場から土地利用型作物の防除技術に関わる試験を実施した。

平成23年度から、水稲の品種改良試験廃止に伴い、県単独の育種事業が開始された。



平成 23 年 4 月に、平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 ヶ年で試験研究機関として重点的に取り組むべき、「第 7 次農業研究推進構想」を策定した。しかしながら、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、津波等により沿岸部を中心に甚大な被害を受け、多くの人材を失うとともに、膨大な水田や用排水施設、園芸ハウス、畜舎など、生産基盤から流通・加工等の関連産業にいたるまで損壊し、食料供給基地としての機能を大きく低下させた。さらに、福島第一原子力発電所から飛散した放射性物質により、農産物等が汚染され出荷停止や放射能検査等が実施され、また、風評被害による本県農産物等の消費低迷を招いた。このような、未曾有の危機に試験研究機関としても総力をあげて取り組むため、平成 24 年 2 月に「農業の早期復興のための試験研究推進計画」を策定し、本県農業に復興に向け研究及び現地試験に取り組んだ。

平成 31 年 4 月、組織再編に伴い、水田営農部、作物育種部、作物栽培部、作物環境部の 4 部体制となった。水田営農部は、新たに営農企画チームを設置し、場内及び農業・園芸研究所、普及組織等との連絡調整や横断的研究の企画運営を行うとともに、旧土壌肥料部から農村基盤を移管し、社会実装等に向けた大規模水田営農試験や生産基盤整備のための試験を行います。作物育種部は、品種育種チームと新たに品種評価チームを設置し、水稻の育種から評価までの一貫した品種開発の実施体制とするほか、農業・園芸総合研究所から岩沼市駐在の原種・原原種生産業務を移管し、原種生産チームとしました。作物栽培部は、水稻直播栽培や効率的な大豆栽培、水稻・大豆・麦類の新品種の栽培法などの基礎試験を担うため、水稻チームと大豆・麦チームを設置しました。作物環境部は、土壌肥料分野から病害虫分野までの総合的な栽培環境の最適化に関する試験を行うため、土壌肥料チーム、環境化学チーム、虫害チーム、病害チームの 4 チーム体制となった。

## 2 予算及び施設備品等の整備状況

### (1) 予算

平成 11 年度以降の予算と施設整備等の整備状況は以下のとおりである。

年度	予算総額 (千円)	主な施設・備品 (千円)
平成 11 年	1 7 6, 4 3 6	
12	1 7 5, 1 4 1	デンシトグラフ(2,467)
13	3 0 6, 5 3 2	
14	2 7 1, 1 7 3	
15	2 5 3, 8 7 0	
16	2 2 8, 6 1 4	
17	2 3 4, 6 1 2	
18	2 0 5, 4 4 9	
19	1 8 8, 8 6 7	マルチビーズショッカー(2,573)
20	1 8 8, 3 7 7	ICP 発光分光分析装置一式(10,479)
21	2 0 4, 3 5 8	エンライザー測定装置(7,110),リアルタイム PCR 装置(6,552),多波長比色計(4,935),中央監視装置(3,570) 自動蒸留滴定システム(3,360)ほか
22	1 8 0, 6 3 2	

年度	予算総額 (千円)	主な施設・備品 (千円)
平成 23 年	1 7 6, 4 3 6	NaI(Tl)式ガンマ線スペクトル測定装置(4,725),テクスチャーアナライザー(3,413), 自脱型コンバイン(3,827)
24	2 0 5, 4 4 9	高純度ゲルマニウム半導体検出器(27,300), 普通型コンバイン(9,249)
25	1 8 8, 8 6 7	米袋吸着アーム(3,990)
26	1 8 8, 3 7 7	
27	2 0 4, 3 5 8	汎用抽出・ろ過装置(2,468),除雪車(12,989)
28	1 8 0, 6 3 2	マルチ味度メーター(12,377),C Nコーダー(9,698),自脱型コンバイン(8,478),総合調製選別機(8,208),アミロース自動分析装置(7,182),回転粘度計(7,830),ほか
29	1 8 4, 8 1 0	高湿度恒温グロースキャビネット(8,294),恒温接種装置(6,156),Ge半導体検出器用電気冷却装置(5,886),耐冷性検定圃場シーケンサー(5,616),約培養庫(5,616)ほか
30	1 5 7, 3 7 1	コンバイン(6,178),トラクター(4,471),乗用田植機(3,478),無粉塵型自動自動粉碎篩分け装置(3,996),自動ケルダール蒸留滴定システム(3,826),土壌電気伝導度測定機(3,367)ほか
令和元年	1 9 3, 8 6 6	トラクター車庫(8,282),I C P質量分析装置(23,921),均平トラクター(9,694),全有機炭素計(5,484),種子用コンバイン(4,708),ミニショベル(4,455)ほか
2	1 6 9, 8 3 7	乗用管理機(11,880),いもち病培養庫(6,380),全自動酸分解前処理装置(5,852)ほか

※ 平成 2 8 年度以降, 長期装備計画により計画的な設備の導入・更新, 備品等の導入を行っている。

### 3 平成 11 年度以降の場長

代	氏 名	転入年月	転出年月
21	佐藤 久悦	平 11.4.1	平 14.3.31
22	阿部 眞三	14.4.1	16.3.31
23	武田 良和	16.4.1	17.3.31
24	石垣 政道	17.4.1	19.3.31
25	松永 和久	19.4.1	20.3.31
26	城所 隆	20.4.1	22.3.31
27	水多 昭雄	22.4.1	26.3.31
28	中井 誠一	26.4.1	27.3.31
29	及川 勉	27.4.1	28.3.31
30	永野 邦明	28.4.1	31.3.31
31	齋藤 益郎	令元.4.1	3.3.31
32	渡邊 雅弘	3.4.1	



#### 4 土地・建物面積及び主要施設配置図

(1) 土地面積 500,000 m<sup>2</sup>

項目	細目	面積 (m <sup>2</sup> )
施設用地	本館施設用地	25,283
	外部施設用地	50,556
	小計	75,839
	農業大学校施設用地	10,586
	合計	86,425
試験・学習圃場用地	試験圃場 水田	170,169
	畑	17,834
	農業大学校学習圃場 水田	48,124
	合計	236,127
その他の用地	用水貯水池, 公園, 駐車場他	177,448

(2) 主要建物・施設 (延床面積)

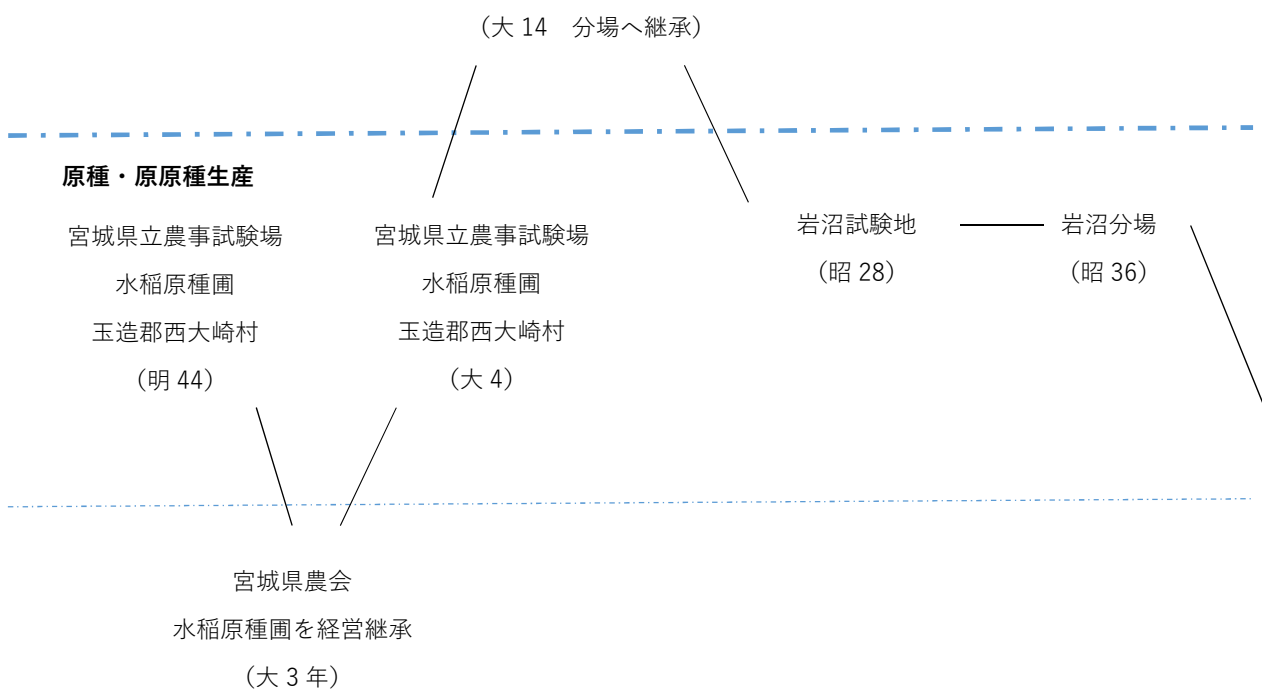
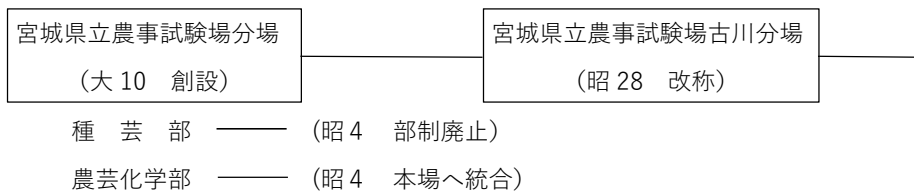
名称	棟数	面積 (m <sup>2</sup> )	名称	棟数	面積 (m <sup>2</sup> )
本館(管理・研究実験棟)	1	6,047.22	第1網室(育種用)	1	420.00
休憩所	1	514.30	第2網室(栽培用)	1	307.44
人工気象制御室	5	6.66	資材格納庫	1	518.40
世代促進温室	1	583.98	農薬保管庫	1	129.60
交配母本育成ガラス温室	1		肥料保管庫	1	
交配室	1		機械格納庫	2	574.91
世代促進制御室	1		小農機具格納庫	1	258.50
接種温室	1		脱穀・作業舎(育種用)	1	375.00
第1調査室(育種用)	1	128.82	脱穀舎(栽培用)	1	522.00
第3調査室(栽培用)	1	431.13	ライスセンター	1	186.30
作物乾燥調整室	1	86.25	杭置き場	2	192.00
育苗舎	1	297.50	堆肥舎	1	390.00
育苗ハウス	6	777.60	気象観測舎	1	59.29
低温種子貯蔵庫	1	51.86	有機溶媒保存庫・ポンプ庫	1	123.40
種子貯蔵庫	1	166.98	ポンプ小屋	1	
玄米等試料保存庫	1		公用車庫	3	400.61
稲試料保管庫	1		レストハウス	1	251.04
			揚水機場	1	72.48

5 組織構成の変遷

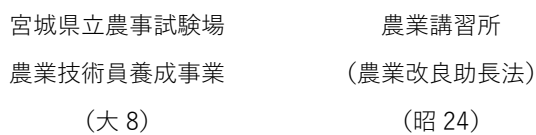


古川農業試験場

育種・栽培試験



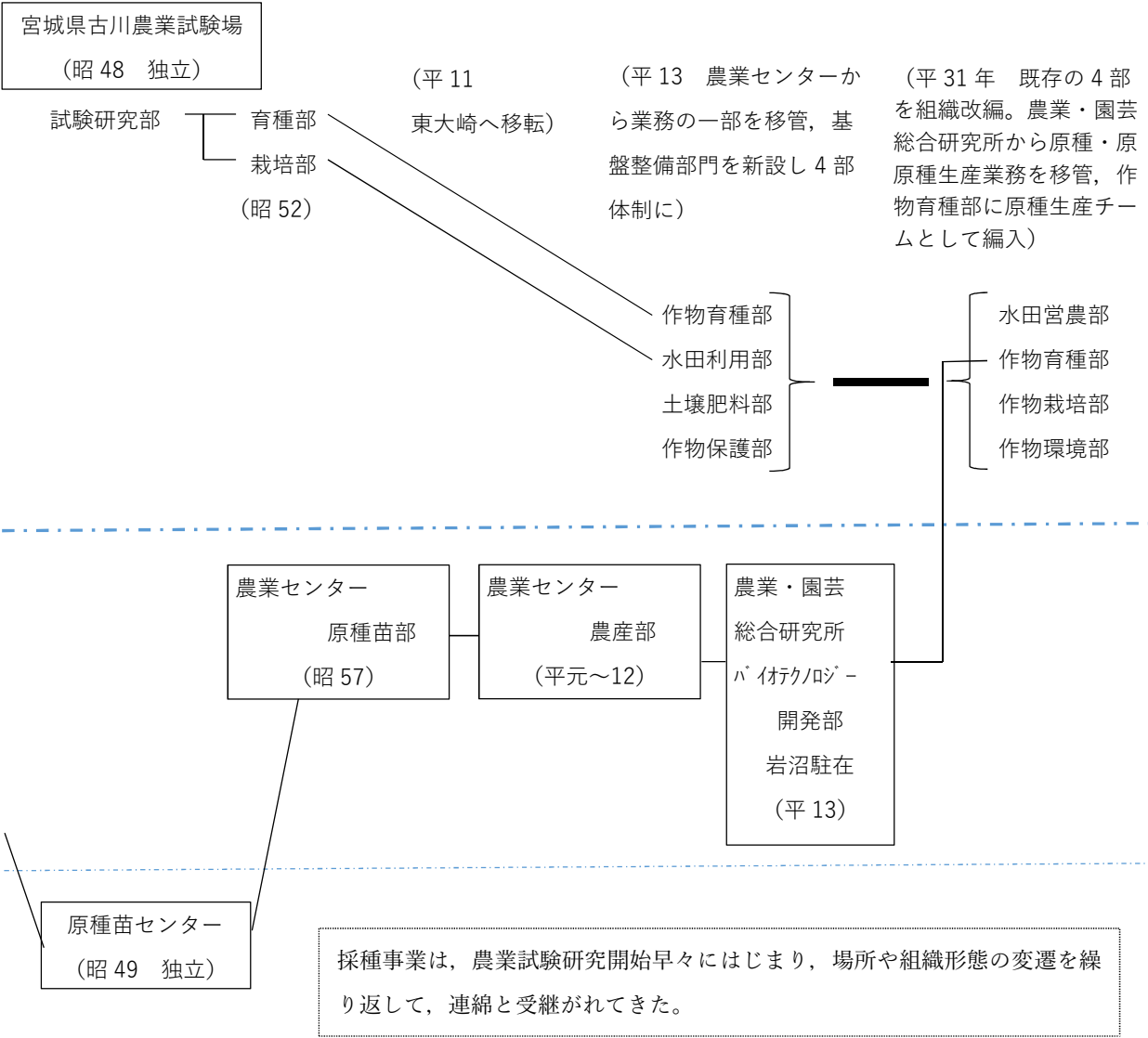
人材育成



開設当初から農業試験研究機関は、人材育成にもかかわってきた。当試験場でも、技術練習生の受け入れや、近年では、農業大学校（農業実践大学校）の講師として農業教育の一端を担ってきた。



**昭和** **平成** **令和**



農業実践大学校  
農業講習所廃止  
高等農業研修所を統合  
(昭 59)

農業大学校  
専修学校の機能を付加  
(平 21)







No.	氏名	在職期間	昭和																																		
			38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61											
58	二瓶 信男	S38.4~S41.3 H9.4~H10.3	○	○	栽																																
59	佐々木次雄	S40.1~H17.3		○	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	
60	土屋 寛治	S41.11~S46.3				練	練	練	練	練																											
61	宇寿山正三郎	S42.4~S47.3					栽	栽	栽	栽	栽																										
62	熊谷 貞子	S43.4~S47.4					総	総	総	総	総																										
63	佐々木武彦	S44.11~H元.3 H3.4~H8.3							育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	
64	坂本 純	S45.5~S46.3								総																											
65	白鳥 正夫	S45.4~S48.7								総	総	総	総																								
66	菊池 忠継	S46.4~S51.3									育	育	栽	栽	栽																						
67	石井 哲朗	S46.4~S51.3 S53.4~S57.3									総	総	総	総	総				総	総	総	総															
68	伊藤せつ子	S46.6~S61.3								育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	
69	氏家 時子	S47.5~S52.3									総	総	総	総																							
70	阿部 眞三	S47.5~H元.3 H6.4~H9.3 H13.4~H16.3									育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	
71	松永 和久	S47.7~H10.3 H13.4~H20.3									育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	
72	三塚 弘	S47.7~H12.3									栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	
73	鈴木 惣蔵	S48.4~S50.3										☆	☆																								
74	大黒 康宏	S48.8~S51.3										総	総	総																							
75	門脇 なかよ	S48.8~S53.3									栽	栽	栽	栽	栽	栽																					
76	穂積 二郎	S48.8~S57.3									栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	
77	高橋 みほ子	S48.8~H3.3									育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	
78	伊藤 みよ子	S48.8~H4.3									栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	
79	紺野美栄子	S48.8~H10.3									栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	
80	伊藤 芳江	S48.8~H13.3									栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	
81	松永 良子	S49.8~S52.3										栽	栽	栽																							
82	佐々木いな子	S49.8~S58.3										育	育	育	育	育	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	
83	門脇 とし丞	S49.8~H3.3									栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	
84	千葉八千代	S49.8~H4.3									栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	
85	長尾さつ子	S49.8~H5.3									栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	栽	
86	菅井たか子	S49.8~H7.3									育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	
87	宮本 硬一	S50.4~S53.1										☆	☆	☆																							
88	森田 清人	S51.4~S53.3																																			
89	斉木 透	S51.4~S54.3																																			
90	照井喜美子	S51.4~S54.3 S60.4~S63.3																																			総
91	佐々木 勉	S52.7~S54.3																																			
92	涌井 茂	S52.4~S54.3 H21.4~H25.3																																			
93	山下しみの	S52.4~S56.3																																			
94	浅野 岩夫	S52.4~S56.3																																			
95	佐々木良子	S52.4~H2.4																																			育
96	黒澤 諦	S53.4~S55.3																																			
97	斎藤 満保	S53.4~S61.3																																			
98	丹野 耕一	S54.4~S58.3 H16.4~H20.3																																			
99	高橋 伸康	S54.4~S59.3																																			
100	及川 俊昭	S54.4~S58.3 S62.4~H元.3																																			
101	三塚 淳子	S54.4~S57.3 H4.4~H7.3																																			
102	高橋 重郎	S55.4~S59.3																																			
103	塩島 光州	S56.4~S59.3																																			
104	木村 きい	S56.4~S60.3 H元.4~H4.3																																			
105	佐々木光雄	S57.4~S59.3																																			
106	今野 勇子	S57.4~S62.3																																			
107	赤間とし子	S57.4~H2.3																																			
108	佐藤 久悦	S57.4~S58.3 H元.4~H3.3 H11.4~H14.3																																			栽
109	千葉 隆久	S57.4~S59.3																																			育
110	石川 雄紀	S57.4~S59.3																																			栽

注1) 在職年数：4月1日から3月31日(年度) 注2) 表中の区分……○印：分場職員，☆印：場長，実：農林水産省古川農事改良実験所職員 注3) 昭和40年以降在職細区分 注4) 平成13年以降在職細区分 副：副場長，総：総務担当，育：作物育種部，水：水田利用部，土：土壤肥料部，保：作物保護部 注5) 令和元年以降水：水田営農部，栽：





No.	氏名	在職期間	昭和										令和														
			58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
111	千葉 芳則	S58.4~S60.3 H23.4~H26.3	育	育																							
112	八嶽 和男	S58.4~H7.3	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育													
113	佐藤 昭介	S59.4~S62.3		☆	☆	☆																					
114	狩野 亮一	S59.4~S62.3		総	総	総																					
115	北沢 昭	S59.4~S63.3		裁	裁	裁	裁																				
116	長田富士子	S59.4~H元.3		裁	裁	裁	裁	裁																			
117	狩野 篤	S60.4~S63.3 R3.4~			育	育	育																				
118	岡本 栄治	S60.4~H3.3 H30.4~R2.3			育	育	育	育	育	育																	
119	渡辺 善弘	S60.4~S62.3 H7.4~H9.3			裁	裁								裁	裁												
120	泉 正則	S61.4~S63.3				裁	裁																				
121	加藤 利信	S61.4~S63.3				裁	裁																				
122	神奈川真三郎	S61.4~H4.3 H27.4~H30.3				裁	裁	裁	裁	裁	裁																
123	三浦 昇	S62.4~H元.3					総	総																			
124	佐々木 典子	S62.4~H元.3					総	総																			
125	錦田 広身	S62.4~H元.3 H11.4~H13.3					裁	裁													育	育					
126	阿部光一郎	S63.4~H2.3						総	総																		
127	福田 和明	S63.4~H3.3						総	総	総																	
128	渋谷 進	S63.4~H3.3						総	総	総																	
129	加藤 正美	S63.4~H5.3 H13.3~H15.3						裁	裁	裁	裁	裁															
130	永野 邦明	S63.4~H5.3 H9.4~H23.3 H25.4~H31.3						育	育	育	育	育									育	育	育	育	育	育	育
131	高橋 精一	H元.4~H3.3						☆	☆																		
132	植松 克彦	H元.4~H4.3 H13.4~H17.3						育	育	育																	
133	田中 良	H元.4~H6.3						裁	裁	裁	裁	裁	裁														
134	高橋 浩明	H元.4~H8.3 H19.4~H22.3 H30.4~R3.3						裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁												土	土
135	牧野 文男	H2.4~H4.3							総	総																	
136	猪野 亮	H2.4~H5.3 H12.4~H14.3 H26.4~H30.3							裁	裁	裁																
137	伊藤 善治	H3.4~H6.3								総	総	総															
138	滝澤 浩幸	H3.4~H9.3 H12.4~H21.3 H28.4~								育	育	育															
139	加藤 清一	H3.4~H7.3								裁	裁	裁	育														
140	菊地 巧男	H3.4~H9.3								総	総	総	総	総	総												
141	佐々木宏明	H3.4~								裁	裁	裁	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	水
142	新山 裕子	H3.4~								育	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	水
143	佐々木政一	H4.4~H6.3									総	総															
144	佐野 幸一	H4.4~H9.3 H28.4~H31.3 H4.4~H12.3									裁	裁	裁	裁	裁												
145	早坂 浩志	H21.4~H24.3 R3.4~									育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育
146	薄木 茂樹	H5.4~H8.3										育	育	育													
147	黒田 倫子	H5.4~H9.3										育	育	育	育												
148	及川 勉	H5.4~H10.3 H20.4~H23.3 H27.4~H28.3										裁	裁	裁	裁	裁	裁										育
149	高橋 光	H5.4~										裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	水
150	村上 和佳	H5.4~										育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育
151	大場 久義	H7.4~H9.3												総	総												
152	木村 誠	H7.4~H10.3													総	総	総										
153	水多 昭雄	H7.4~H10.3 H22.4~H26.3													裁	裁	裁										
154	山本 和子	H7.4~H11.3													総	総	総	総									
155	千葉 寿文	H7.4~													裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	水

注1) 在職年数：4月1日から3月31日(年度) 注2) 表中の区分…☆印：場長，★印：総括研究員，注3) 昭和58年以降在職細区分・総：総務担当，育：育種担当，裁：栽培関係係  
注4) 平成13年以降在職細区分 副：副場長，総：総務担当，育：作物育種部，水：水田利用部，土：土壤肥料部，保：作物保護部 注5) 令和元年以降水：水田営農部，裁：作物栽培



No.	氏名	在職期間	平成																											
			7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
156	平地 邦徳	H7.4～	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育		
157	山田 忠幸	H7.4～	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育		
158	伏見敬四郎	H8.4～H11.3		☆	☆	☆																								
159	石川 孝三	H8.4～H11.3		総	総	総																								
160	吉田 修一	H8.4～H20.3 H27.4～		裁	裁	裁	裁	裁	水	水	水	水	水	水	水												水	水		
161	千葉 文弥	H8.4～H20.3		育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育															
162	後藤 智津子	H8.4～		育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育		
163	佐々木 衛	H9.4～H21.3			総	総	総	総	総	総	総	総	総	総	総															
164	茂木伸太郎	H9.4～H13.3			総	総	総	総																						
165	小野寺和英	H9.4～H12.3 H17.4～H23.3 H28.4～H29.3			裁	裁	裁								次兼	次兼	土	土	土	土								土		
166	宮野 法近	H9.4～H13.3 H24.4～			育	育	育	育																			保	保		
167	添田 哲男	H9.4～H13.3			裁	裁	裁	裁																						
168	針生 義一	H9.4～			裁	裁	裁	裁	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水		
169	武田 良和	H10.4～H17.3				裁	裁	裁	水	副	副	☆																		
170	佐々木捷二	H10.4～H12.3				裁	★																							
171	星 信幸	H10.4～H30.3			裁	裁	裁	裁	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水		
172	泉田 智恵	H10.4～H15.3			裁	総	総	総	総	総																				
173	相澤 栄子	H10.4～			裁	裁	裁	裁	水	水	水	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育		
174	小林 哲也	H11.4～H12.3					総																							
175	横山 充	H12.4～H14.3						総	総																					
176	佐々木都彦	H12.4～H21.3 R3.4～						育	育	育	育	育	育	育	育	育														
177	小山 淳	H12.4～H19.3						裁	保	保	保	保	保	保																
178	佐藤 泰久	H12.4～H16.3 H24.4～H26.3						裁	水	水	水																水	水		
179	島 秀之	H12.4～						裁	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土		
180	熊谷 千冬	H12.4～H20.3 H25.4～H26.3						裁	土	土	土	土	土	土	土												土			
181	神崎 正明	H12.4～H23.3						裁	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水												
182	佐藤 茂幸	H13.4～H16.3								総	総	総																		
183	猪俣 将	H13.4～H16.3								総	総	総																		
184	遠藤 貴司	H13.4～H16.3 H20.4～R3.3								育	育	育								育	育	育	育	育	育	育	育	育		
185	日塔 明広	H13.4～H14.3 H23.4～H27.3							水												水	水	水	水						
186	伊藤 修	H13.4～H16.3							水	水	水																			
187	島津 裕雄	H13.4～H18.3 H28.4～							水	水	水	水	水														水	水		
188	高橋智恵子	H13.4～H18.3 H26.4～H28.3							水	水	水	水	水														水	水		
189	酒井 博幸	H13.4～H14.3 H30.4～							水																			水		
190	我妻 因信	H13.4～H15.3 R2.4～							水	水																				
191	山本 晶子	H13.4～H17.3							水	水	水	水																		
192	佐々木美和	H13.4～H18.3							水	水	水	水	水																	
193	高橋 晃	H13.4～H20.3							水	水	水	水	水	水																
194	吉田 幸司	H13.4～							水	水	水	育	育	育	育	育	育	育	育	育	育	水	水	水	水	水	水	水		
195	岩佐 郁夫	H13.4～H19.3							土	土	土	土	土	土																
196	齋藤 益郎	H13.4～H14.3 H26.4～H28.3 H31.4～R3.3							土																		土	土		
197	佐々木次郎	H13.4～H22.3 H26.4～R3.3							土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	次兼	次兼					土	土		
198	畑中 篤	H13.4～H19.3							土	土	土	土	土	土																
199	對馬 岩夫	H13.4～H20.3							土	土	土	土	土	土	土															

注1) 在職年数：4月1日から3月31日(年度) 注2) 表中の区分……☆印：場長，副：副場長，総：総務担当 注3) 育：作物育種部，水：水田利用部，土：土壤肥料部，保：作物保護部 注4) 令和元年以降水：水田営農部，育：作物育種部，裁：作物栽培部，環：作物環境部



令和			備考
元	2	3	
水	水	水	現職員
育	育	育	現職員
水	水	水	現職員
水	水	水	現職員
環	環	環	現職員
水	水	水	現職員
			場 長
育	育	育	現職員
		育	現職員
環	環	環	現職員
育	育		
育	育	育	現職員
水	水	水	現職員
	育	育	現職員
育	育	育	現職員
☆	☆		場 長
環	環		

物育種部、水：水田利用部、



No.	氏名	在職期間	平成										令和			備考		
			21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3			
258	菅野 博英	H21.4～	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	裁	裁	裁	現職員
259	門間由美子	H21.4～H28.3	水	水	水	水	水	水	水									
260	阿部 倫則	H21.4～	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	育	育	育	現職員
261	遊佐 隆洋	H21.4～H24.3	土	土	土													
262	鈴木 和裕	H21.4～H25.3	土	土	土	土												
263	鈴木 智貴	H21.4～H28.3	保	保	保	保	保	保	保									
264	佐々木 勉	H22.4～H23.3		総														
265	佐藤 康弘	H22.4～H25.3		総	総	総												
266	佐伯 研一	H22.4～H28.3		育	育	育	育	育	育									
267	酒井 球絵	H22.4～H26.3		育	育	育	育											
268	平山 吉久	H22.4～H26.3		土	土	土	土	土										
269	佐藤 一良	H22.4～H25.3		土	土	土												
270	大槻 恵太	H22.4～H25.3		保	保	保												
271	吉田 守	H23.4～H25.3			副	副												
272	斎藤 義彦	H23.4～H24.3			総													
273	佐々木篤次	H23.4～H25.3			総	総												
274	菅原美代子	H23.4～H26.3			総	総	総											
275	安藤慎一郎	H23.4～H28.3			水	水	水	水	水									
276	北川 蒼紘	H23.4～H29.3			水	水	水	水	水	水								
277	鷲尾 英樹	H23.4～H26.3			土	土	土											
278	鈴木 辰也	H23.4～H26.3			土	土	土											
279	鈴木 剛	H23.4～H26.3			土	土	土											
280	本田 修三	H23.4～H27.3			土	土	土	土										
281	金澤由紀恵	H23.4～H28.3			土	土	土	土	土									
282	佐藤 直樹	H23.4～H26.3			保	保	保											
283	斎藤 浩三	H24.4～H26.3				総	総											
284	熊谷真紀子	H24.4～H27.3				総	総	総										
285	佐藤 浩子	H24.4～H30.3				育	育	育	育	育	育							
286	石橋 まゆ	H24.4～H28.3				水	水	水	水									
287	内海 翔太	H24.4～H27.3				水	水	水										
288	平 直人	H24.4～H28.3				土	土	土	土									
289	相花 絵里	H24.4～H27.3				保	保	保										
290	二階堂浩徳	H25.4～H27.3					総	総										
291	竹田 真二	H25.4～H28.3					総	総	総									
292	阿部 脩平	H25.4～H30.3					水	水	水	水	水							
293	石川亜矢子	H25.4～R2.3					土	土	土	土	土	土	環					
294	土屋 稔	H25.4～H27.3					保	保										
295	大江 高穂	H25.4～H31.3					保	保	保	保	保	保						
296	中井 誠一	H26.4～H27.3						☆										
297	久光 浩	H26.4～H29.3						総	総	総								
298	中込 佑介	H26.4～R2.3						育	育	育	育	育	育					
299	佐々木 撰	H26.4～H29.3						土	土	土								
300	宮本 武彰	H26.4～H30.3						土	土	土	土							
301	今野 智寛	H26.4～						土	土	土	土	土	水	環	環			現職員
302	櫻田 史彦	H26.4～R3.3						保	保	保	保	保	水	水				
303	佐々木繁紀	H27.4～H30.3							総	総	総							
304	稲村美智子	H27.4～H28.3							総									
305	佐藤 章	H27.4～R2.3							総	総	総	総	総					
306	阿部 定浩	H27.4～H29.3							水	水								
307	國嶋 広達	H27.4～							水	水	水	水	水	裁	裁	裁		現職員
308	鈴木 桂輝	H27.4～H29.3							土	土								
309	小山かがみ	H27.4～H30.3							土	土	土							
310	横堀 亜弥	H27.4～R2.3							保	保	保	保	環					
311	鎌田 誠喜	H28.4～H30.3								総	総							
312	後藤 敏恵	H28.4～H31.3								総	総	総						
313	石森 裕貴	H28.4～								育	育	育	育	育	育			現職員
314	金原 昭三	H28.4～								水	水	水	裁	裁	裁			現職員
315	金野 勇吾	H28.4～H31.3								水	水	水						
316	道合 知英	H28.4～H31.3								土	土	土						
317	小泉 慶雄	H29.4～R3.3								土	土	水	水					
318	森谷 和幸	H29.4～R3.3								土	土	環	環					

注1) 在職年数：4月1日から3月31日(年度) 注2) 表中の区分……☆印：場長，副：副場長，総：総務担当 注3) 水：水田利用部，育：作物育種部，土：土壤肥料部，保：作物保護部 注4) 令和元年以降 水：水田営農部，裁：作物栽培部，環：作物環境部



No.	氏名	在職期間	平成					令和					備考			
			26	27	28	29	30	元	2	3	4	5		6	7	8
321	土井 智宏	H30.4～					総	総	総							現職員
322	町 直樹	H30.4～R2.3					育	育								
323	真壁 由衣	H30.4～R3.3					水	裁	水							
324	横島 千剛	H30.4～					土	環	環	環						現職員
325	岸田なつみ	H30.4～R3.12					土	環	環	環						
326	庄子 一郎	H30.4～R3.3					保	水	副							
327	日地谷 聡	H31.4～R3.3						総	総							
328	後藤裕太郎	H31.4～						総	総	総						現職員
329	大野菜穂子	H31.4～						水	水	水						現職員
330	堀内 保昭	H31.4～						育	育	副						現職員
331	今野 裕介	H31.4～R2.3						育								
332	高橋 信行	H31.4～						環	環	環						現職員
333	高城 拓未	H31.4～						環	環	環						現職員
334	川端 泉穂	H31.4～						環	環	環						現職員
335	原田 隆治	R2.4～							総	総						現職員
336	小田中大輔	R2.4～							裁	裁						現職員
337	木皿 正人	R2.4～							育	育						現職員
338	山内 歩実	R2.4～							育	育						現職員
339	齋藤 健多	R2.4～							環							現職員
340	渡邊 雅弘	R3.4～								☆						場 長(現職)
341	伊勢 博之	R3.4～								総						現職員
342	吉田 利香	R3.4～								総						現職員
343	佐藤 一浩	R3.4～								水						現職員
344	横山 裕美	R3.4～								水						現職員
345	菅原 冬葵	R3.4～								水						現職員
346																
347																
348																
349																
350																
351																
352																
353																
354																
355																
356																
357																
358																
359																
360																
361																
362																
363																
364																
365																
366																
367																
368																
369																
370																
371																
372																
373																
374																
375																
376																
377																
378																
379																
380																
381																
382																

注1) 在職年数：4月1日から3月31日(年度) 注2) 表中の区分…☆印：場長，副：副場長，総：総務担当 注3) 水：水田利用部，育：作物育種部，土：土壌肥料部，保：作物保護部 注4) 令和元年以降 水：水田営農部，裁：作物栽培部，環：作物環境部



## 7 育成品種と年表

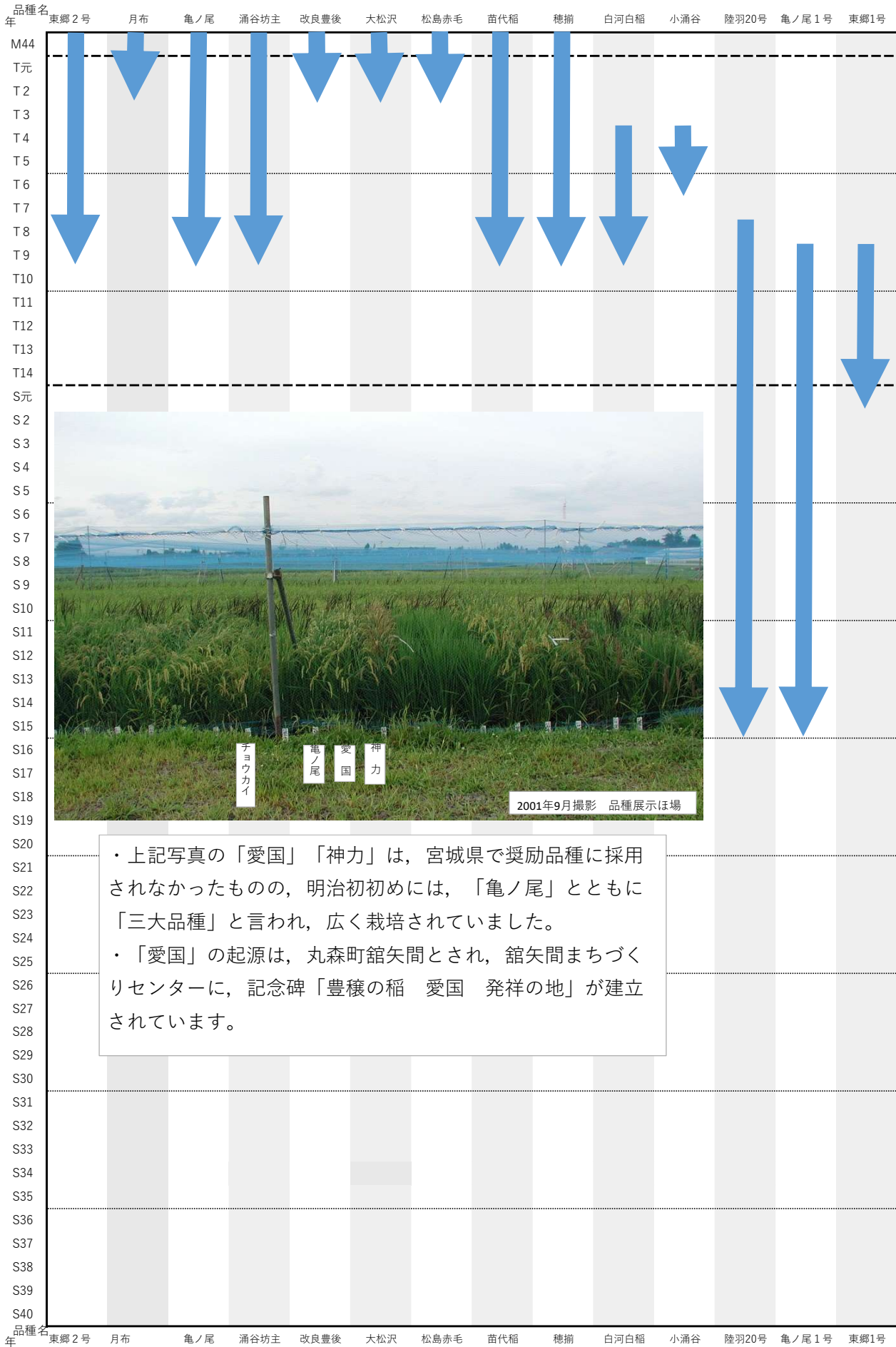
年	育成品種	宮城県単収	作況指数	米に関する施策等	県内の出来事	全国の出来事
大正10年		271		米穀法	栗原電鉄石越～沢辺間開通 / 石巻線開通	
大正11年		300				
大正12年		272				関東大震災
大正13年		283				
大正14年		291				
昭和元年		272	94			
昭和2年		301	106	指定試験制度の開始		
昭和3年		291	102			
昭和4年		289	101			
昭和5年		318	112			
昭和6年		262	90		旧県庁舎完成	満州事変
昭和7年		286	99			
昭和8年	東北9号	345	120	米穀統制法	三陸地震津波で被害	
昭和9年		253	85		東北地方大凶作	
昭和10年		276	96			
昭和11年	農林7号	323	113	米穀自治管理法		
昭和12年	東北14号	321	110		仙山線仙台～山形間開通	日中戦争
昭和13年	東北15号	316	107			
昭和14年	東北20号	333	110	米穀配給統制法		
昭和15年	農林16号 農林17号	298	98	臨時米穀配給統制規則及び米穀管理規則		
昭和16年	東北23号	269	88			太平洋戦争開戦
昭和17年		329	107	食糧管理法		
昭和18年	東北24号	313	99			
昭和19年		304	97			
昭和20年		208	67		仙台大空襲、米不作	太平洋戦争終戦
昭和21年		330			仙台七夕復活	
昭和22年		272			キャサリン台風で被害	
昭和23年		173		主要食糧1割増産運動	アイオン台風で被害	
昭和24年	農林49号 農林50号	296				
昭和25年		297				
昭和26年				農産物検査法施行		
昭和27年	ササシグレ	362			県立農業短期大学開学	
昭和28年	オバコワセ	302				
昭和29年	チョウカイ					
昭和30年						
昭和31年	ヤマテドリ	432				
昭和32年		391			仙台空港開港 鳴子ダム完成	
昭和33年		357	97		花山ダム完成	
昭和34年	ヤマセシラズ シンツルモチ	427	111			
昭和35年	ナツミノリ トヨチカラ	449	113		チリ地震津波で被害	
昭和36年	ミヨシ	447	109	農業基本法	大倉ダム完成	
昭和37年		440	103	農業構造改善事業開始	栗駒ダム完成 県北部地震で被害	
昭和38年	ササニシキ	425	97			
昭和39年		406	93			
昭和40年		470	108			
昭和41年		429	98			
昭和42年		477	109			
昭和43年		474	106			
昭和44年		473	104	自主流通米制度		
昭和45年		498	109	生産調整の実施	県林業試験場完成 釜房ダム完成	
昭和46年		453	96	稲作転換対策		
昭和47年		504	106			
昭和48年		485	101		県農業センター完成	オイルショック
昭和49年		446	93			
昭和50年		516	108			
昭和51年		433	90	水田総合利用対策	冷害 樽水ダム完成	



年	育成品種	宮城県単収	作況指数	米に関する施策等	県内の出来事	全国の出来事
昭和52年		468	98		県立農業実践大学校開校	
昭和53年		538	112	水田利用再編対策（第1期）	6月12日午後5時14分宮城県沖地震”（M7.4、震度5）発生 稲作史上最高の豊作（水稲作況指数112）	
昭和54年		518	107			
昭和55年		383	79		漆沢ダム完成 冷水害（水稲作況指数79）	
昭和56年	サトホナミ	434	88	水田利用再編対策（第2期）	2年続きの不作（水稲作況指数88）	
昭和57年	コガネヒカリ	449	91	改正食糧法の施行	3年続きの不作（水稲作況指数91）	
昭和58年		472	95			
昭和59年	みやかおり	529	107	水田利用再編対策（第3期）	七北田ダム完成	
昭和60年		548	110		伊豆沼・内沼ラムサール条約指定	
昭和61年		496	99		8・5豪雨災害	
昭和62年		524	104	特別栽培米制度 水田農業確立対策（前期）	南川ダム完成	
昭和63年	ハヤユタカ チヨホナミ	381	75		冷害（水稲作況指数75）	
平成元年		484	96		農業センター植物バイオ館完成 政令指定都市仙台市スタート	
平成2年		563	111	（財）自主流通米価格形成の場」創設 水田農業確立対策（後期）	豊作（水稲作況指数111）	
平成3年	ひとめぼれ はぎのかおり	465	92		七ヶ宿ダム完成	バブル崩壊
平成4年		497	98			
平成5年		187	37	MA(米の最低輸入義務)受入れ 水田富農活性化対策	戦後最悪の異常気象（水稲作況指数37）	大凶作
平成6年	こころまち	537	106		9・22集中豪雨災害	
平成7年	ササニシキBL	503	99	食糧法（流通規制の緩和）	ささろまん誕生	
平成8年	ゆめむすび	521	103	新生産調整推進対策		
平成9年	蔵の華 まなむすめ	530	104			
平成10年		488	96	緊急生産調整推進対策	8月末豪雨災害	
平成11年		522	102			
平成12年	はたじるし	544	105	水田農業経営確立対策		
平成13年	たきたて	536	103	改正JAS法・玄米及び精米品質表示基準の 適用 農産物検査民営化		
平成14年	こいむすび	538	103		新系統種「しもふりレッド」認定	
平成15年		359	69		「平成の大合併」県内第1号加美町誕生 三陸南地震発生（5月26日）	
平成16年	オラガモチ	565	108	改正食糧法(流通がほぼ自由化) 水田農業構造改革対策	上大沢ダム（鳴子町）供用開始	
平成17年	もちむすめ	533	101		「8・16宮城地震」（マグニチュード7.2、最大震度6弱）の 発生 登米市、栗原市、新・石巻市、東松島市誕生	
平成18年		510	96	農産物検査の完全民営化	美里町、大崎市、新・気仙沼市誕生 低気圧通過による暴風雨被害発生	
平成19年		532	100		くりはら田園鉄道運行終了	
平成20年		522	98		岩手・宮城内陸地震発生	リーマンショック
平成21年	やまのしずく ゆきむすび	529	100		ユネスコの無形文化遺産に「秋保の田植踊」の登録	
平成22年		545	103	指定試験事業終了		
平成23年		547	103		東日本大震災（東北地方太平洋沖地震（M9.0））発生	
平成24年	げんきまる	559	103			
平成25年	東北194号 さち未来	552	104			
平成26年		559	105			
平成27年	金のいぶき	547	103			
平成28年	こもちまる	554	105		8月16日～9月1日の暴風雨および豪雨による災害	
平成29年		535	99		第11回全国和牛能力共進会宮城大会開催	
平成30年		551	101		新石巻合同庁舎開庁	
令和元年		551	102		台風19号、イチゴ新品種「にこにこベリー」デビュー	
令和2年	だて正夢 吟のいろは(出 願中)	552	102			新型コロナウイルス 感染症の大流行
令和3年						

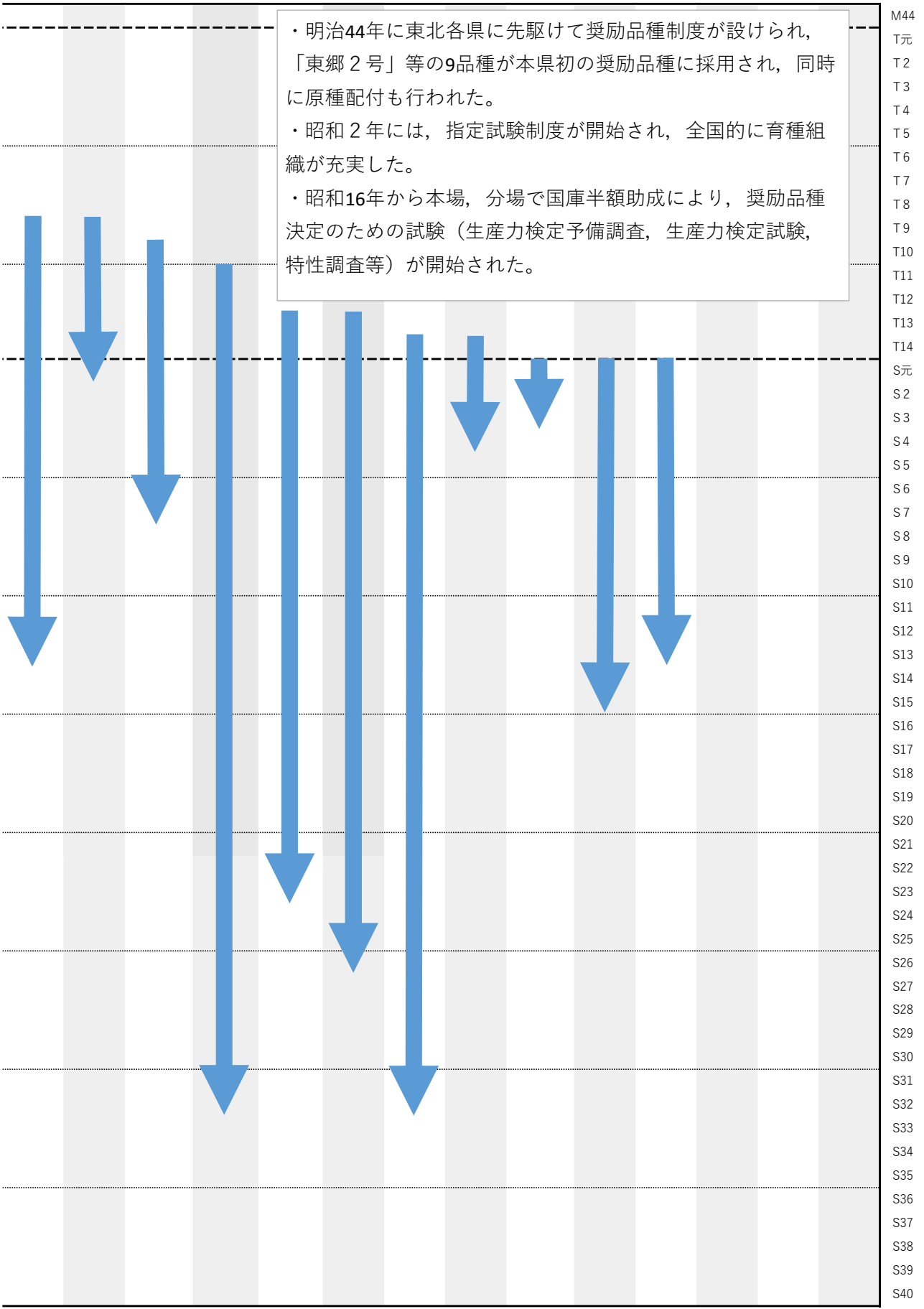
※ 昭和19年以前は全国の数値 品種名の太字は、優良品種採用品種

## 8 水陸稲奨励品種の変遷 (明治～)



・上記写真の「愛国」「神力」は、宮城県で奨励品種に採用されなかったものの、明治初初めには、「亀ノ尾」とともに「三大品種」と言われ、広く栽培されていました。  
 ・「愛国」の起源は、丸森町舘矢間とされ、舘矢間まちづくりセンターに、記念碑「豊穰の稲 愛国 発祥の地」が建立されています。

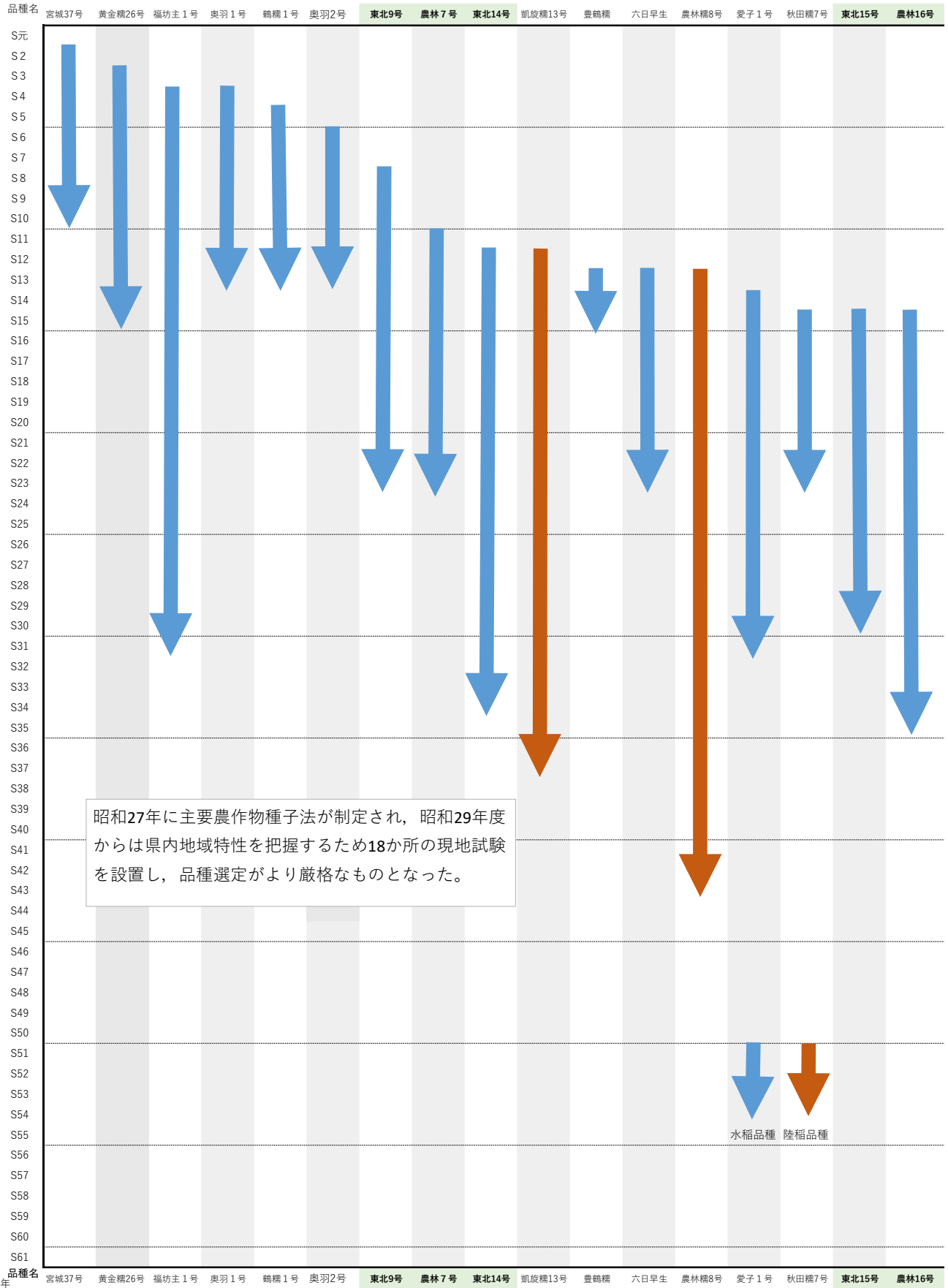
白河1号 穂揃1号 豊国32号 爱国1号 黒糯22号 鶴糯2号 陸羽132号 早生爱国2号 早生大野65号 宮城19号 宮城42号



白河1号 穂揃1号 豊国32号 爱国1号 黒糯22号 鶴糯2号 陸羽132号 早生爱国2号 早生大野65号 宮城19号 宮城42号

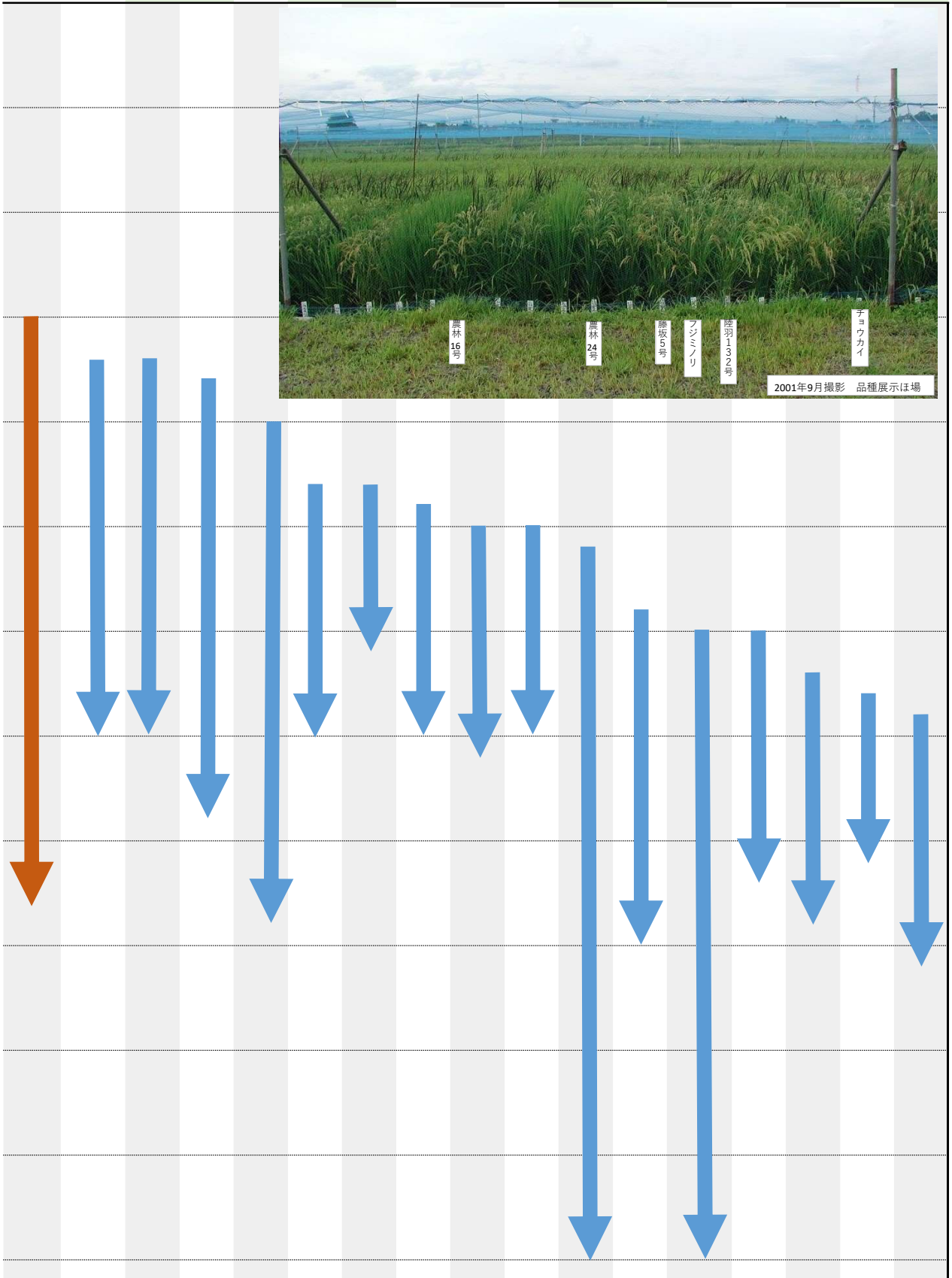


## 8 水陸稲奨励品種の変遷（昭和）



※ 品種名の網掛けは 古川農業試験場育成品種

農林14号 爰子2号 農林24号 農林17号 新2号 農林49号 農林50号 フタケトリ 藤坂5号 信濃糯3号 ササシグレ チョウカイ ハツニシキ チクマ 新6号 シンツルモ子 トヨチカラ

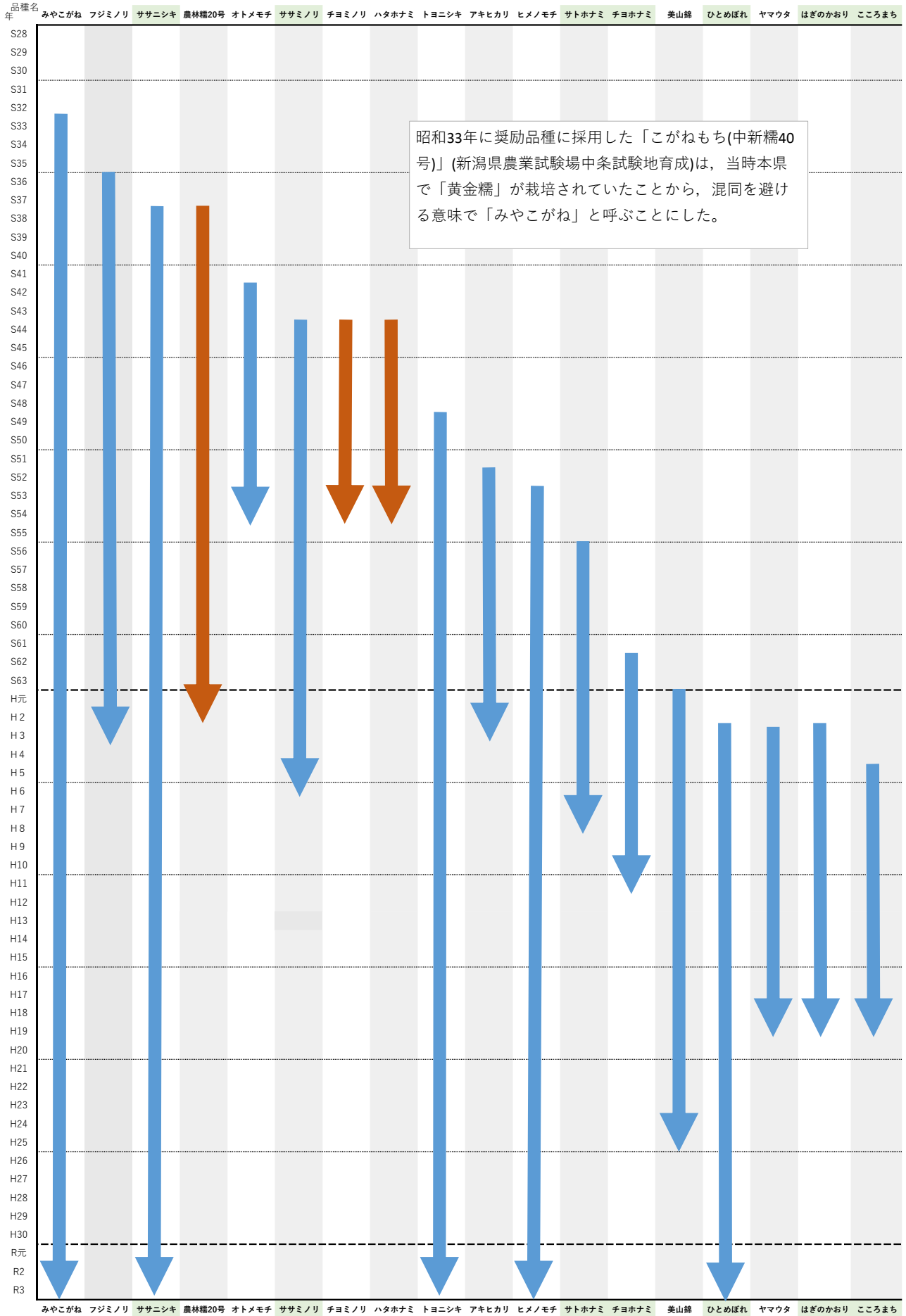


農林14号 爰子2号 農林24号 農林17号 新2号 農林49号 農林50号 フタケトリ 藤坂5号 信濃糯3号 ササシグレ チョウカイ ハツニシキ チクマ 新6号 シンツルモ子 トヨチカラ

S元  
S2  
S3  
S4  
S5  
S6  
S7  
S8  
S9  
S10  
S11  
S12  
S13  
S14  
S15  
S16  
S17  
S18  
S19  
S20  
S21  
S22  
S23  
S24  
S25  
S26  
S27  
S28  
S29  
S30  
S31  
S32  
S33  
S34  
S35  
S36  
S37  
S38  
S39  
S40  
S41  
S42  
S43  
S44  
S45  
S46  
S47  
S48  
S49  
S50  
S51  
S52  
S53  
S54  
S55  
S56  
S57  
S58  
S59  
S60  
S61

年  
品種名

8 水陸稲優良（奨励）品種の変遷（昭和後半～）



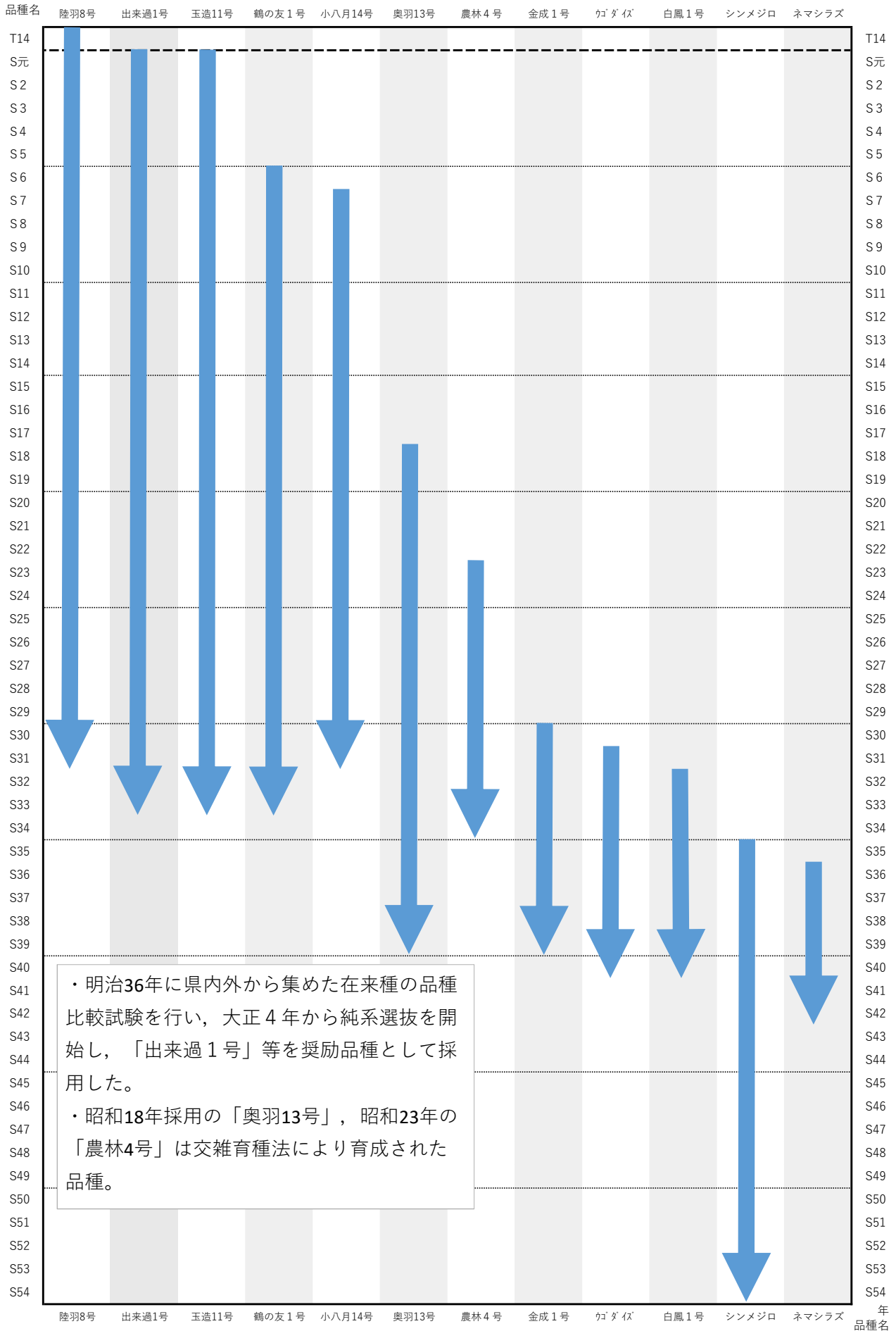
※ 品種名の網掛けは 古川農業試験場育成品種

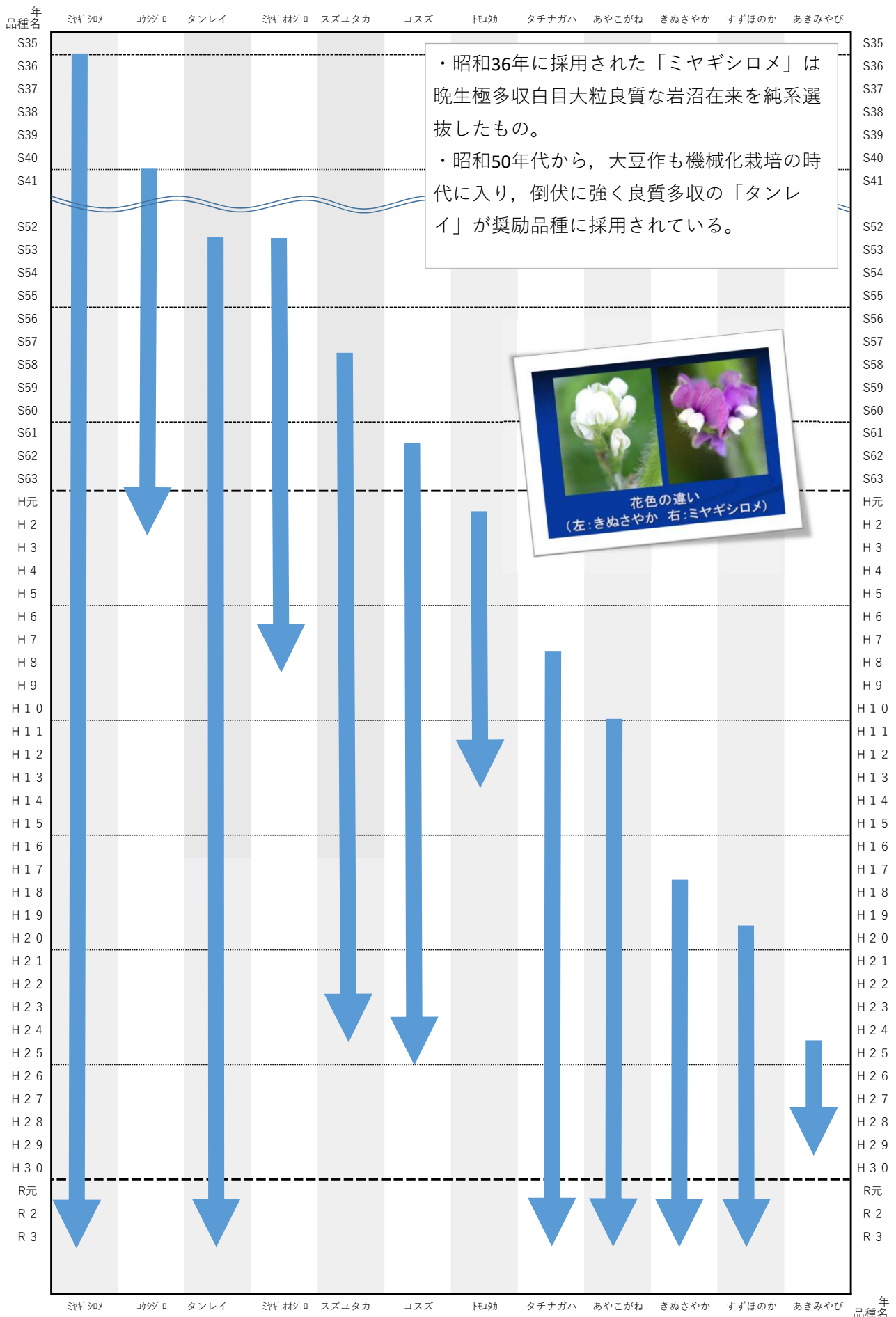


S28  
S29  
S30  
S31  
S32  
S33  
S34  
S35  
S36  
S37  
S38  
S39  
S40  
S41  
S42  
S43  
S44  
S45  
S46  
S47  
S48  
S49  
S50  
S51  
S52  
S53  
S54  
S55  
S56  
S57  
S58  
S59  
S60  
S61  
S62  
S63  
H元  
H2  
H3  
H4  
H5  
H6  
H7  
H8  
H9  
H10  
H11  
H12  
H13  
H14  
H15  
H16  
H17  
H18  
H19  
H20  
H21  
H22  
H23  
H24  
H25  
H26  
H27  
H28  
H29  
H30  
R元  
R2  
R3



## 8 大豆優良（奨励）品種の変遷





## 8 小麦優良（奨励）品種の変遷

